

### 平成21年度 長野市陸協競技関係日程

月	日 (曜日)	競 技 会
4	19 (日)	第11回長野マラソン・第5回車いす
	29 (水)	第98回長野市内高校春季陸上大会
5	2 (土)	信州大・名古屋大対校戦
	3 (日)	第15回北信地区記録会
	15 (金) ~ 17 (日)	第118回北信高校陸上競技大会
	24 (日)	第40回長野市障害者スポーツ大会
6	6 (土)	第46回北信中学陸上競技大会
	7 (日)	第24回北信小学生大会
	20 (土)	第16回中学混成大会
7	18 (土) ~ 19 (日)	第46回関東信越高専陸上競技大会
8	22 (土) ~ 23 (日)	第51回北信陸上選手権大会
9	5 (土) ~ 6 (日)	第62回長野県陸上競技選手権大会
	11 (金) ~ 13 (日)	第119回北信高校新人陸上競技大会
	23 (土)	第37回長野県中学新人陸上東北信大会
	27 (金) ~ 29 (日)	第38回長野県高校新人陸上競技大会
10	4 (日)	第16回北信地区記録会
	4 (日)	第23回飯綱マラソン
	10 (土)	第99回長野市内高校秋季陸上大会
	11 (日)	第20回長野県マスターズ選手権大会
	18 (日)	第36回NAGANOスポーツフェスティバル
	24 (土) ~ 25 (日)	第40回北信越学生陸上選手権大会
11	8 (日)	2009キッズRAN
12	6 (日)	県ロードレース須坂大会

### 編 集 後 記

全国高校駅伝で佐久長聖が悲願の初優勝。それも2時間2分18秒の日本高校最高記録であった。我家でテレビ応援していた。感激して嬉しくてすぐに佐久長聖高校監督、両角速先生宛に祝電を打った。しかし少々時間が過ぎて反省した。俺は宮崎県立 小林高校のOBじゃないか、後悔先に立たずである。まあ仕方ない、今は長野県民の一人である事に間違いはないと自分で自分に言い聞かせたのである。

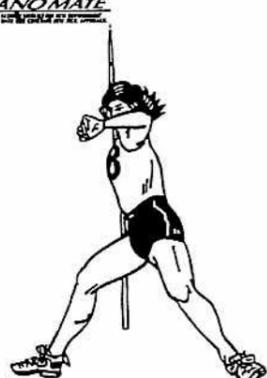
京都での女子駅伝8位入賞。これもテレビ応援。地区のどんど焼き、点火15時。テレビを見終わって全力で現場に走って行った。うまい具合に間に合った。女子の長野チーム入賞に参加者共々乾杯して喜んだ。

2009年1月18日、広島の子男子駅伝長野連覇。信毎の時の顔に出た山田良徳先生。そして選手、コーチ、関係各位に只々感謝の二文字です。

これから年度末、一期一会、3月は別れと出会い、新年度は新しいスタッフが多数だと思います。協力しあい、長野市陸協の益々の発展を心からお祈り申し上げます。駅伝王国長野、万歳。今後共宜しくご指導を頂き、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念致します。

最後に4年間、会報発行の為、原稿等にご協力を賜りましたことに多くの皆様に心から深く感謝致します。誠にありがとうございました。

平成21年3月  
広報部長 若松軍蔵



SHINANO MATE  
ATHLETIC UNIFORM  
しなのメイト 株式会社

〒389-0066 埴科郡坂城町大字上五明992-2  
PHONE (0268) 81-1336  
F A X (0268) 81-1337

発行所 長野市陸上競技協会  
 発行人 浦野義忠  
 編集人 若松軍蔵



題字の「動き」は長野市陸協三代目会長 山浦保氏の書で、山浦会長の頃、市陸協会報紙として何号が発行されていました。

### 会長 退任のあいさつ

長野市陸上競技協会 会長 伊藤利博

3期6年永きに亘り長野市陸協会長を務めさせていただきましたが、会員の皆様方の暖かいご支援、ご協力をいただきまして、なんとかここまでこぎ着くことができました。改めて感謝申し上げます。

就任当時を思い起こしますと、150余名の会員をまとめていくには、和を持っていかねばと、会員相互の理解を深めながら進めてまいりましたが、皆様方からご理解をいただきながら、気持ち良く6年間を過ごすことができました。会員の高齢化に伴う会員の減少に、なんとか歯止めをかけ、若い会員の増員に努めてまいりましたが、今では審判員、選手登録を含め、数では県下一の大所帯になりました。

選手強化も大きな柱の一つでありましたが、中学校、高校の先生方や、地域クラブの指導者の皆様方の努力により、ここ数年インターハイ等の全国大会において、長野市から複数の入賞者を輩出してあり、大変嬉しく思います。これ

からも私達会員が、若い指導者を何かの形で、応援サポートして行くことが、さらなる発展につながるのではないかと考えています。長野市陸協会報「動き」も復活して、年間4回、今回で24回目の発行ができました。これも発刊にご協力をいただいたワンステップ松林様のお陰だと感謝申し上げます。長野市陸協の情報がいろいろな角度からお知らせできることは、今後につながっていくと思います。

また、経理面においても、明朗、かつ後ろ指を指されない運営により、今では記念大会等の市陸協独自で実施していく、行事の費用の一部にまわせるような備蓄も出来つつあり、関係する方々のご協力に敬意と感謝を申し上げます。

登録会員数も県下になった長野市陸協、名実共に県下をリードしていけるような、そんな長野市陸協を目指してさらなる発展を祈念してお礼の挨拶とします。

ありがとうございました。

### 理事長 退任のあいさつ

長野市陸上競技協会 理事長 浦野義忠

会員の皆様には、いつも市陸協のためにご尽力を頂き、ありがとうございました。

駅伝・ロードレースから、トラックシーズンイン間近の3月末日をもちまして、3期6年間の理事長を退任することになりました。

この間、皆様方のご指導、ご鞭撻そして、心からなるご協力に対しまして、厚く御礼申し上げます。理事長を就任しました当初から、競技運営面の充実と競技力向上を柱に会長・各部長と共に取り組んでまいりました。競技会では、節目の第10回の長野マラソンまで、会員殆どが審判に携わって頂き、地元支部陸協としての責任を果たすことができました。昨年開催されました第50回記念北信陸上競技選手権大会では、信濃毎日新聞社・プログラム広告の各社のご支援を頂きまして成功裡に終了することができました。

競技力では、小田切亜紀選手が日本代表として、アジアクロスカントリーで銅メダルの快挙を成し遂げました。第

27回全国女子駅伝では、長野県初の入賞を果たし、県選手団14名中、長野市から8名もの選手をおくりました。今年度では、全国小・中・高・大学各選手権・国体・日本ジュニア・同室内等、全国大会に多くの選手が出場しました。上記大会では、延べ11名の選手が入賞を果たし、中でも21年度早川恭平選手は、インターハイ3年連続入賞の期待もあります。市町村対抗駅伝では、前人未踏の10連覇達成の金字塔を樹立してほしいと思います。競技力が充実してきているのも、小・中学校からの底辺拡大が結実し、会員及び各クラブコーチ、先生方、そして小中高校間のパイプが確立された賜物だと思います。市体協からは、毎年、基本構想補助事業・ジュニア特別対策事業・優秀選手招へい事業・選手強化費の交付があり、感謝を致しております。

終わりにあたりまして、会員の皆様には、ご理解・ご協力をいただきましたことに心より感謝を申し上げ、退任の挨拶と致します。ありがとうございました。

### 平成21・22年度 長野市陸上協競技協会役員

会長	寺島大士	普及強化部長	早川孝一
副会長	藤本勝彦 大竹義雄 西片 功 浦野義忠	副 "	山田良徳 斎藤和彦 長田 貴 藤森 要
理事長	内山了治	ジュニア部長	竹内万祐
副理事長	臼田昭次 柴澤英男 北島正孝 北原 勲	副 "	古田新造 仁科香苗
総務部長	村田修一	駅伝部長	田中哲広
副 "	小島君夫	副 "	市川 武 芳川千恵 玉城良二
経理部長	矢野清隆	理事	伊藤利博 若松軍蔵 平出 勲 早川千吉郎
副 "	碓井 真		土川国人 中澤次生
広報部長	田島康彦		山田昭彦 早川 幸
副 "	角田 晃		三條俊彦 長田 貴
情報部長	渡辺誠一		鈴木文雄 小島君夫
副 "	山田昭彦 永井俊彦		碓井 真 杉本宗保
記録部長	下條正紀		山田良徳 小林靖志
副 "	尾田美恵子		玉城良二 角田 晃
競技部長	戸谷直喜		市川 武 藤森 要
副 "	小林靖志 正村寿満子		外谷俊男 古田新造
審判部長	西内 勉	監事	古澤久四郎 高橋恒和
副 "	山口 豊 跡部定一	顧問	依田邦夫 山本晴雄
	長原正夫		依田良春 小口正行
施設用器具部長	山田栄一郎		
副 "	早川 幸		

### 陸上クラブ紹介 No.19 長野市立長野高校陸上競技部

「長野県立・第1回長野県高等学校女子駅伝優勝！！」は昭和61年。女子駅伝の全国大会の始まりは、平成に入ってからのため、本校は残念ながら全国出場していません。この活躍の時代を率いられたのが浦野義忠先生、多くの優秀な選手を育てられました。東和田に陸上競技場ができるまで(30年くらい前)、本校のグラウンドは、公認の300mトラックでした。そこで競技会が開催されていたということです。このような歴史を持つ県立高校ですが、昨年の4月、市立長野高校開校となりました。現在の2・3年生は、普通科・総合生活科の県立高校、1年生が男女共学・単位制・総合学科の市立長野高校、2つの学校併設でのスタートです。



長野市立ならではの特色ある学校にしたいという思いがあり、まだまだ現在進行中の状態であり、いるんな面で生徒に不便をかけているところ。校舎・グラウンドすべてが完成するまであと2~3年はかかります。1学年4クラス規模の小さな学校ですが、1期生、2期生大きな希望を持った多くの中学生が志願してくれて、うれしい限りです。陸上競技部にも男子が入部し、今までと違った雰囲気や部活動に与えてくれています。学習・生活環境は最高ですが、そこに甘えているわけにはいきませんので、気を引き締めたいところです。生徒の希望を実現するために、顧問としてできる限りの手助けをしていきたいと考えています。目標を達成するために、土台となる力(体力)、自分で工夫していく力(想像力)を養いたいと思います。簡単には力がつきませんので、そこで我慢する力(継続)も必要となりま

す。本校の目標は、以下の通りです。  
 ①自分の可能性、チームの可能性に挑戦する(記録更新と上位大会進出)  
 ②高校生として自律、自立する(市立の高校生、部の一員としてよい雰囲気づくり)  
 そして、目標を達成するためには、次のことに気をつけます。  
 ①明確な目標を持つ  
 ②自分の体や心の動きに関心を持つ  
 ③計画的に生活(練習)をする  
 ④すぐに思う結果が出るわけではないので焦らない  
 ⑤普段の学校生活を大切に  
 近くに強豪校があるので、少しでも近づけるように生徒も私も頑張っています。長野市立の学校として、生徒ともども今後もよろしくお願いたします。  
 長野市立長野高校陸上競技部 顧問 小林 至

## 第190 ホープさん ★★ 長野東高校2年 鳥羽詩織

### 「今年の抱負」

私が長野東高校に入学してからもう2年の月日が流れ、今年で高校最後の年を迎えました。長野東高校へは、全国高校駅伝出場を目標に入学しました。その中でフォーム改善として競歩を始めさせて頂き、走る方では経験できない高いレベルの大会なども出場させて頂きました。今年もあと1年、走り歩きを両方がんばっていきます。

私の目標は、まず競歩では、インターハイに出場し、上位に入賞することです。昨年の埼玉インターハイにも出場させて頂きましたが、予選を通過するだけで精一杯で、決勝ではまったく勝負することができず、悔しい思いが残ったので、今年はインターハイまで必ず勝ち上がり、決勝で勝負します。

そして、駅伝では、今年のチームの目標は、「都大路で8位入賞、1時間9分台」です。この目標は並大抵の努力では達成できません。チームが変わるためには、自分から少しずつでも変わることが必要になります。私個人としての目標は、8人の登録メンバーに入ることです。今年もチームは新入生が入部し、チーム内のメンバー争いが厳しくなります。

そのメンバー争いを勝ち抜くために自分を律した生活を心がけていきます。

今、私がこうして陸上をできているのも、両親、玉城先生をはじめとした沢山の方々の支えがあったこと。そんな中でも、親元を離れている私をいつも心配して支えてくれる両親がいるから私は今、大好きな陸上を続けられます。支えてくれる方々への感謝の気持ちを常に持ち続け、その気持ちを生活、行動に表します。

今年で高校生活も最後の年になるので、絶対に悔いを残さないよう、1日1日を大切にがんばっていきます。



## 思い出の写真シリーズ 第20回

長野市陸上競技協会 広報部長 若松軍蔵

広報最後の仕事に、自分が思い出の写真として原稿を書くことになるのは夢にも思わなかったけれど、これも陸協のためと協力、いや光栄と善意に解釈することにした。

さて、ある日曜の寒い日、写真を物置の1番奥から女房に処分されかけた額入りのデカイ箱根駅伝の写真が、年月を物語る如く少々焼けて出て来た。とたんに昨日の如く脳裏にゴールのシーンが焼きつき思い出された。

ちょうど東京オリンピックの年、1964年1月3日、昭和39年の正月である。忘れる訳にはいかない。中央大学2年生だった。10人で走る東京~箱根往復駅伝競走。この大会には、正選手8人が、かなり早い時期に内定していた。あと2人は、2年の私、若松、1年の福盛、そして磯端。最終決定レースは、自衛隊体育学校のある方向、川端街道、10マイルコースでした。結果は、自分が1位でアンカーに決定。次は福盛選手、磯端選手は補欠になったのである。



今思うに、大会当日よりこの予選会の方が、かなり厳しくてつらかった気がしました。この年は日大と中大の一騎打ちだった。9区の北東から2分17秒差でタスキを受け取り、品川駅前あたりで逆転してゴールでは21秒差だったと記憶している。これが中大の6連覇でした。いまだ7連覇はこの大学にもないと思う。現在、各関東の大学はこの大学にも優勝の可能性はある。昔の伝統校しかり、テレビで応援していても悪戦苦闘の連続で10位から落ちるのじゃないかと、冷や汗をかいている始末である。駅伝はアクシデント、そして筋書きのないドラマでもある。それにしても、今年の東洋大学は強かった。5区の箱根の山登りはアッパレでした。

私も駅伝男だった。高校の監督さんも、親戚でもないのに同じく若松秋雄先生だった。若松先生との出会いがあったから今日があるのだと、只々深く感謝の二文字であります。良い監督、コーチと出会うことを、多くの選手の皆様に期待して、失礼申し上げます。

13度目へ中大若松ひた走る!